



第五十六号 平成二十四年六月二十一日(木)発行

作左の会 研修の旅

さる六月六日(水)「一筆啓上作左の会」主催研修の旅が大型バス貸切で行われ

ました。当日参加者は三十六名で長篠城社史跡保存館、

火繩銃の総攻撃にさらされ 武将を多く失った勝頼は、味方に守られ敗走しました。武田氏はこの戦いで没落し、織田・徳川の勢力が強大になりました。保存館には長篠の戦い当時の武士の年齢が

荷のコースで出発、前日心配された天候も幸い素晴らしい

好天に恵まれ久しぶりに新鮮な空気に触れ心が癒されました。

明記されていて興味をそそりました。そして蓬来山東照宮へ行き慶安四年(一六五一年)江戸城内紅葉御殿よりご神体並びにご宮殿を奉還し造営建立され、日本三大東照宮のひとつで、素朴ながら当時の社寺建築の粹を集

ました。

めて華麗荘厳さを色濃くいままも残しています。そんな東照宮をあとにバスは「お稻荷」と呼ばれ親しまれている豊川稻荷へ、当寺でお祈りしてまいりますのは鎮守、白い狐に袴つておられることから、豊川稻荷が通称として広まり現在に至っています。本殿奥の院参拝・法堂・大黒天堂・寺宝館など散策して、全員無事に帰路のバスに乗り込み予定時刻より早く西部市民ホームに着きました。

参加していただいた会員の皆様ほんとうにありがとうございました。今後とも「作左の会」の活動にご協力をお願いいたします。

長篠の合戦で、武田軍は

設楽原へ進出し夜明けとともに織田、徳川軍の陣地に突入して壮絶に戦いましたが、

「文責 本多達夫」

突入して壮絶に戦いましたが、

ら当時の社寺建築の粹を集

「文責 本多達夫」



長篠城本丸跡



長篠城址史跡保存館前